

光の森の丘通信

令和5年度 下半期号(第42号)

令和6年 3月 25日発行

発行・編集 光の森の丘広報委員会

特別養護老人ホーム 光の森の丘

デイサービスセンター 光の森の丘

〒963-0666 福島県郡山市安原町字谷津 171-1

TEL:024-956-6800 FAX:024-956-6300

E-mail:hikarinomorinooka@feel.ocn.ne.jp

ホームページ URL: <https://hikarino-mori.jp/>



祝 金賞受賞！！

令和5年度 高齢者作品展



光の森の丘の玄関に展示してあります。ご覧ください

作品名は『光輝なひまわり畑』です。ひまわりの花言葉である「光輝」から引用しました。光り輝く1年になりますようにとの思いも込めて、元気いっぱいなひまわりを表現しました。

立体的に見せるため、ワイヤーを入れて飛び出すひまわりも作りました。花びらを作るのにとっても時間がかかり大変でした。

ひまわり一つ一つに利用者様の個性が表れていて、同じ柄の花びらを縫い付ける方、色々な柄の花びらを縫い付ける方など、華やかなひまわりが出来上がったと思います。夏らしさを表現する為入道雲と眩しい太陽もこだわって作りました。

出来上がった作品を見て「大したもんだ！」「立派なのが出来たー！」と皆さん大変喜ばれ素敵な笑顔でした。

来年度の作品展に向けて構想を立て始めています。金賞おめでとうございます！！

特別養護老人ホーム光の森の丘の日常

祝 白寿
三部 君恵 様



敬老会

節目を迎えられた皆様に桜井施設長より賞状の授与が行なわれました。

百寿1名、白寿2名、卒寿1名、米寿4名、傘寿1名の方が賞状を受け取りました。

職員余興では“秋田の手踊り”“腹踊り”を披露。出てきた時は「なんだ？」という顔をされていましたが、職員が踊り始めると声を出して笑う方もいらっしゃいました。

敬老の日という事で感謝を込めて職員手作りの祝い鶴とメッセージカードを送らせて頂きました。おやつの中には柏屋の福どら焼きを提供。皆さん「美味しいな」「やっぱりあんこが良いね。」と喜んで召しあがっていました。



紅丘祭

今年はいにくの雨、コロナ禍ということもあり、施設内、各ユニットでの開催となりました。お祭りの雰囲気を感じてもらおう為各ユニットで屋台を作成し、職員手作りの豚汁や焼きそば、たこ焼きなどを提供しました。

「なんでこんなにご馳走なの?」「美味しくて全部食べちゃった。」等の喜びの声が聞かれていました。午後からはお神輿まわりと職員によるソーラン節。「どっこいしょー!」と声を出しながら一緒に鳴子を鳴らす様子も見られました。

たくさんの笑顔と喜びの声が聞かれた紅丘祭でした。



11月 運動会

『秋の大運動会』が盛大に開催されました。
お昼には運動会らしい食事が提供されると、「おいしいね」「おかわり頂戴」と笑顔で話されておりました。

競技は「ままどおる食い競争」「環っか送り」を実施しました。鈴を鳴らし「頑張れ」「すごい」と声も聞かれ大変盛り上がりしました。

職員による「借り物競争」では大きな声で声援され笑いあり涙ありの大運動会でした。
今年度はあかしやが優勝旗を手に入れました！！
おめでとうございます！



12月

クリスマス会

「クリスマス会」では、職員がジングルベルダンスを披露しました。振り付けを真似する方や音楽を口ずさむ方など十人十色の姿を観る事ができました。

1階ホールでは一番の目玉「サンタとトナカイとツリー」のフォトスポットを準備しました。「すごい」「かわいい」「本物みたい」と目を輝かせ笑顔いっぱい姿を見る事ができ嬉しく思っています。



1月

新年会

新年会では、獅子舞がユニットを回り、1年の無病息災を祈願しました。

今年の年男・年女の方の名前をお呼びすると、照れ笑いされている方もおられました。今年、辰年です。天に昇る龍のように勢いのある年でありますように職員一丸となって支えてまいりたいと思います。



なんと、大大吉♪
ステキな一年になりますように…☆



新年会♪大人気のいなり寿司

2月

節分



節分の日には 3 体の鬼が各ユニットを回りました。鬼が来ても笑顔で迎える皆さん。豆に見立てたボールを「鬼は外！福は内！」と大きな声を出しながら優しく投げ、鬼を退治していました。

「昔は子供と一緒に豆まきしたんだ。」「昔は年の数の豆を食べるのが楽しみだったけど、今は数が多すぎて食べれないね」等の昔の話を聞くことができました。豆まきの後には恵方ロールを召し上がられました。

デイサービスセンター光の森の丘の日常



10月にデイサービスの畑で育てたさつまいもを収穫しました！

外で焼き芋をし、ミニクッキングではスイートポテトを作りました。

甘さは控えめでしたが、ホクホクとしたさつまいもで「皆で作ったからより美味しいね〜♪」とたくさん食べました。



「固めの柿は焼いたら美味しく食べれるよ。」とご利用者の方が教えて下さり試してみました♪



11月より、1月にある令和5年度高齢者作品展に出展する『丘の登り竜』を制作に取り掛かり始めました。竜の骨組みに段ボールを使い、SDGSを意識し捨てる牛乳パックや卵パックを再利用しました。細かい鱗を作る工程が一番時間がかかる部分でした。ご利用者の方からも「今日は竜のどの部分の鱗を作るんだい？」「出来上がりが楽しみだな。」と進んで制作に取り組みされていました。

とうとう出展する日を迎え、「これは金賞だよ！皆で頑張って作り上げたんだから！」と満を持して出展。会場でも他の施設職員の方々から「凄いですね！どうやって作ったんですか？」「写真を撮っても良いですか？」と声を掛けられ、私達職員も金賞間違いなしと期待に胸を膨らませていました。

結果は参加賞でしたが、皆さんで力を合わせて作ることができてとても良い経験となりました。

また来年度もチャレンジしようと思います。



接遇美人コンテスト 第2回開催

サービス向上委員会主催の「接遇美人コンテスト」が今年度も開催されました。今年度は「あいさつ」「身だしなみ・清潔感」「丁寧な言葉づかい」「スマイル」「思いやり・愛のある心」の5つの部門で投票が行われました。

優良待遇者となった職員には表彰状が手渡され、励みとなりました。今後もよりよいサービスの提供とおもてなしをしていけるよう、日々努めてまいります。



写真左:身だしなみ・清潔感部門♪ 白岩かな彥

写真右:あいさつ部門♪ 遠藤 香

外部広報誌に掲載！

看護師の阿部みち子が「福島県看護協会広報誌vol.35」のキラキラ★プラチナナースに掲載されました。多様な経験、その道一筋で長年活躍されている方として紹介されています。

キラキラ★プラチナナース

多様な経験をお持ちの方や、その道一筋で長年活躍されている方などをご紹介します。第3回は看護職以外の職業経験もされている阿部みち子さんです。

特別講師 老人ホーム 光の森の丘 阿部みち子さん

私が看護職に就いたのは52歳です。長く看護婦として働いていた大塚母に憧れ、高校の衛生看護科に進みました。就職式を終えて病院実習に入ると、未熟な手技でも喜んでくれる高齢者に励まされました。反面、患者の死に打ちのめされたことがあります。悩んだ末、卒業後は美術系の短大へ進学し、雑誌やテレビCMのスタイリストとして、撮影や海外ロケで忙しく20代を過ごしました。当時、仕事で表参道の日本看護協会の前を通る度に、少し複雑な気持ちになったことを覚えています。35歳の時に家族で郡山に移り住みましたが、その後も看護とは関わりのない仕事をしてきました。50歳を過ぎ今後の生き方を考える中、今なら看護職ができるかと思いい、ナース復帰支援のコースに参加しました。その後、特養で7年間、59歳から光の森の丘で勤務し現在68歳。

長く人生を生ききった方の、長期に立ち会うことができることは、とても光栄な仕事だと今は思っています。利用者様やご家族のお役に立てればと、多職種との職責と共に日々奮闘しています。もっと早く看護婦として働いていれば、と思うくらい充実した毎日を送っています。

新職員紹介



望月 沙亜耶
(介護職)
12月入社



久保田 伸一
(介護福祉士)
1月入社

広報委員

高橋 理沙 白岩かな彥
佐久間 絵梨 大堀 絵美
鈴木 芙実 吉田 千夏
大河原 和恵

編集後記

上半期も様々な行事を通して利用者様と楽しい時間を過ごし、その中で多くの笑顔を見せていただきました。

元旦の石川県能登半島地震で幕を開けた2024年。ニュースや新聞を見て被災地の方へ温かいお言葉をかけられている利用者様をみて、私達職員も思いやりや感謝の気持ちを忘れずに利用者様との時間を過ごしていきたいと思えます。

今年も楽しい行事を行っていきます。次号もお楽しみにしてくださいね。

3/25 号外 研究発表会で3位！ (女性施設長の会主催)

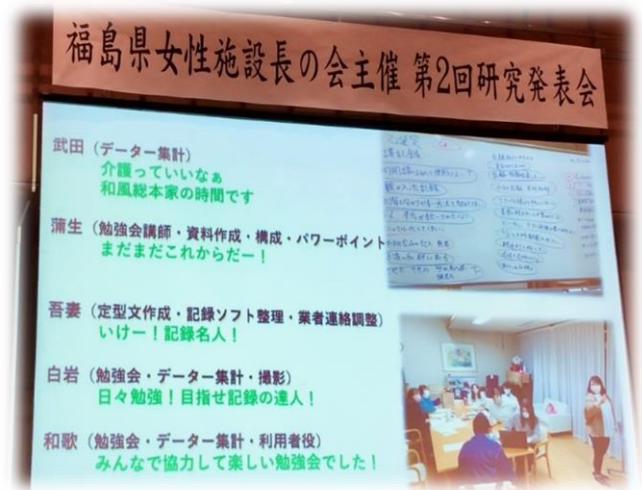


3月8日、福島県介護福祉施設の女性施設長の会が主催する、研究発表会が開催されました。当施設は今回初めて参加し、業務記録についての事例研究を発表しました。タイトルは「いつやるの？ いまでしょ！ 目指せ記録の達人 ～記録の書き方で業務改善～」

日々行っている業務記録について、見直しを行ってみると、個々の認識の差や表現方法など課題が見えてきました。そこで、業務記録を“一人ひとりが正しく記録を書ける”ことを目標とし、委員会の設置やアンケートの実施や勉強会の実施、マニュアル作りを行ってきました。

当日は桜井茂子施設長、介護福祉士の三澤幸司、介護支援専門員の小湊まゆみが参加しました。優勝を目指し、大勢の観客の前で緊張しながらも堂々と発表し、見事3位を受賞することができました。

今回の受賞は職員にとってとても励みとなり、また、他の施設の発表に触れ当施設でもできる事がたくさんあると刺激を受けました。利用者様によりよいケアが提供できるよう、職員一丸となって今後も取り組んでいきたいと思ひます。



～統括 三澤介護福祉士からのコメント～

3位という結果にビックリしたのが正直な感想です。まさか、自分達が！と思いましたが、メンバー一人ひとりの頑張りがこの結果に繋がったのだと思います。「銅という字は金と同じと書きます。」胸を張って喜びたいと思ひます。



丘の上の福路生さんのメンバー